

ひとよし市議会だより

2009 第61号 平成21年7月15日 発行：熊本県人吉市議会/編集：議会報編集委員会

市のホームページでもご覧になれます。

<http://www.city.hitoyoshi.kumamoto.jp>
E-mail gikai@city.hitoyoshi.lg.jp



みぞぎ 国宝青井阿蘇神社 禊 橋とハスの花

【議会の主な行事】（平成21年4月～6月）

6 月

29日 市議会
25日 議会運営委員会、第4回臨時市議会
19日 議会運営委員会、総務文教委員会、全員協議会
17日 議会報編集委員会（6月議会分）
16日 予算委員会
15日 総務文教委員会・厚生委員会・経済建設委員会
12日 総務文教委員会・厚生委員会・予算委員会、全員協議会
11日 議会運営委員会
9日 議会運営委員会
1日 全員協議会
1日～19日 第3回定例市議会

5 月

29日 熊本市議会議長会定期総会
27日 議会運営委員会
26日 熊本市議会議長会
25日 熊本市議会議長会
20日 熊本市議会議長会
18日 熊本市議会議長会
13日 熊本市議会議長会
8日 熊本市議会議長会

4 月

28日 熊本市議会議長会
23日 熊本市議会議長会
13日 熊本市議会議長会
10日 熊本市議会議長会
8日 熊本市議会議長会
6日 熊本市議会議長会

総務文教委員会報告

●委員長 下田代 勝 ●副委員長 川野 精一
●委員 西 信八郎・永山 芳宏・本村 令斗・仲村 勝治・大王 英二

総務文教委員会の報告をいたします。

日程第 6、議第 57 号から日程第 12、議第 63 号までの 5 件につきまして、審査の結果をご報告いたします。

議第 57 号は、人吉市教育委員会の教育長の給与及び勤務時間に関する条例の改正であります。

これまで一般職に準じて支給対象とされている諸手当を、特別職と同じ通勤手当と期末手当のみとし、期末手当の支給率と退職手当の計算法も特別職に準じたものとするものであります。給料は、月額 55 万 8 千円。

議第 58 号は、人吉市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正であります。これは、21 年 7 月から国家公務員に併せ、週 40 時間を 38 時間 45 分とするものであります。これに伴い、再任用職員、職員の育児休業、職員の修学等に関する条例も一部改正となります。

審査の中で、国家公務員に準じた理由は、開庁延長時間への影響はなど質疑応答がありました。

議第 59 号は、人吉市補助金等基本条例についてであります。人吉市の補助金制度を公平で、効率的なものとするため制定するものであります。なお、基本条例に規定する「人吉市補助金審査委員会」は、設置条例を 9 月定例会に上程の予定としているものであります。

他に議第 61 号大畑公民館等の使用料、議第 63 号公用車接触事故の損害賠償に係る条例等があります。

いずれも慎重に審査し、全会一致認めることに決しました。

議第 52 号平成 21 年度一般会計補正予算であります。歳出の主なものとして

2 款総務費一般管理費 13 節委託料 39 万 9 千円は市有地内工作物（秀望のつじの所）撤去の為の弁護士委託料。2 款総務費 1 目一般管理費 19 節補助金 210 万円は、永野町、東間上町公民館改築等への助成金であります。

10 款教育費 1 項教育総務費 9 節旅費 241 万 4 千円は学校評価運営委員研修等旅費、18 節備品購入費 239 万 4 千円は、3 校分の印刷機購入であります。

5 項社会教育費 5 目文化財保護費 187 万 5 千円は、岩屋熊野座神社保存修理事業補助金等であります。ちなみに、国庫事業で総事業費 5,000 万円への市の分担であります。いずれも現地調査を行い、慎重審査の結果、全員異議なく認める事に決しました。



東間上町公民館を視察する総務文教委員会

厚生委員会報告

●委員長 田中 哲 ●副委員長 松岡 隼人
●委員 豊永 貞夫・笹山 欣悟・三倉美千子・簗毛 正勝

厚生委員会に付託されました案件議案・予算案件・陳情案件についてご報告をいたします。

＜案件議案＞ 議第 62 号委託に関する協定の締結についてであります。これは平成 20 年度より平成 24 年度までの 5 カ年で行われる人吉浄水苑第 2 期改築工事の 1 件であり、人吉公共下水道根幹施設の建設工事は、日本下水道事業団との随意契約であり、協定金額を 2 億 1,000 万円とし 2 カ年に渡って行うものであります。議第 67 号委託に関する協定の締結についての議決内容の一部変更についてであります。これは現在進めている人吉浄水苑の改築工事に関わるもので平成 20 年度から 21 年度で実施しているものです。変更の内容は、3 億 9,240 万円を 7,430 万円減額し、3 億 1,810 万円とするものです。

＜予算案件＞ 議第 52 号平成 21 年度人吉市一般会計補正予算（第 2 号）の内、3 款民生費、1 目社会福祉総務費に 1,336 万 1 千円追加するもので、4 月に新設されました「くらし安心相談係」に関する経費が主なものであります。3 目老人福祉費に 6,000 万 9 千円を追加するもので、地域密着型サービス拠点等施設整備補助金 4 カ所分です。4 款衛生費の 36 万 2 千円の追加は扶助費で妊婦の一般健康診査給付費が主なものです。議第 53 号平成 21 年度人吉市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 2 号）は歳入歳出それぞれ 396 万 4 千円を減額するもので、人事院勧告及び人事異動による職員給与費等繰入金の減額であります。議

第 54 号平成 21 年度人吉市老人保健医療特別会計補正予算（第 1 号）は歳入歳出それぞれ 633 万 8 千円を追加するもので、支払基金交付金、国庫負担金及び県負担金の精算に伴うものであります。議第 55 号平成 21 年度人吉市介護保険特別会計補正予算（第 2 号）は歳入歳出それぞれ 926 万 8 千円を追加するものであります。議第 56 号平成 21 年度人吉市介護サービス事業特別会計補正予算（第 2 号）は歳入歳出それぞれ 576 万 6 千円を減額するものです。審査の結果、案件議案 2 件、予算案件 5 件、いずれも原案どおり認めることに決しました。

＜陳情案件＞ 陳第 20 号物価に見合う年金引き上げを求める陳情は、慎重審査の結果、全会一致で不採択いたしました。



産業廃棄物（中間）処理施設建設予定地を視察する厚生委員会

経済建設委員会報告

●委員長 森口 勝之 ●副委員長 松田 茂
●委員 井上 光浩・村上 恵一・福屋 法晴・立山 勝徳・山下 幸一

経済建設委員会に付託を受けました、議第 52 号平成 21 年度人吉市一般会計補正予算（第 2 号）のうち、6 款農林水産費、7 款商工費、8 款土木費について、議第 60 号人吉市火入れに関する条例の一部を改正する条例の制定について、議第 64 号損害の賠償について、及び議第 65 号訴えの提起について、それぞれ審査の結果を報告いたします。

まず予算関連であります、農業振興費 60 万円の増額補正は、健康農産物ブランド化推進事業において、医食同源ひとよし米のブランド化を図るための販売促進に要する経費で、内訳は販売促進に要する出張旅費及び医食同源ひとよし米のサンプル経費と販売促進用パンフレットの作製費であります。商工業振興費 16 万 6 千円の増額補正は、人吉刃物の技術等を広くしらしめ、技術の継承と後継者の育成を目的にくまもと工芸会館において人吉鍛冶刃物の伝承展を開催するための広告料であります。

次に、土木費のうち道路橋梁総務費 1,050 万円の増額補正は、長寿命化修繕計画策定事業として、市が管理している橋長 15 メートル以上の 64 橋について橋梁点検業務を委託するものであり、また、道路新設改良費 400 万円の増額補正は、市単独事業赤池古屋敷第 1 号線道路改良工事に要する工事請負費であります。

議第 60 号人吉市火入れに関する条例の一部改正であります、まず「火入れ」とは一般的に「野焼き」もしくは「山焼き」といわれている森林管理作業のことです。

気象庁が注意喚起のために発表する気象注意報のうち、異常乾燥注意報が乾燥注意報に名称変更されたことに伴って条例の一部を改正するものであります。

議第 64 号損害の賠償については、市営住宅東間米山団地駐車場において車両通過の際、鉄板蓋が跳ね上がり、車両前部バンパーが破損した事故に対し、損害賠償金 4 万 3 千円を支払うもので、全額保険金充当によるものです。

議第 65 号訴えの提起案件であります、市が市内上戸越町に所有する普通財産である土地に無断で工作物を造り、植樹している者に対し、それらの撤去を求めるものであります。平成 20 年 9 月以降数回にわたる内容証明での請求に対しても無回答のため訴えるものです。

以上、必要な案件については現地確認を行った上、慎重審査の結果、全員異議なく認めることに決しました。



市営住宅東間米山団地を視察する経済建設委員会

予算委員会

●委員長 三倉美千子 ●副委員長 井上 光浩
●委員 全議員

予算委員会に付託されました日程第 1「議第 52 号平成 21 年度人吉市一般会計補正予算（第 2 号）」のうち、「第 1 条歳入予算の補正（全款）」について報告いたします。

今回の歳入予算の補正は、1 億 3,604 万円を追加し歳入予算総額を 135 億 3,387 万 2 千円とするものであります。今回の歳入補正予算のほとんどが、国・県の補助事業の内示及び申請などによる補正であります。

主なものは、◎市長公室・総務部において、前年度繰越金を 5,000 万円の増額補正。自治体国際化協会から 100 万円の助成。◎市民部では、熊本県消費者行政活性化事業費

補助金 832 万 4 千円増額補正で、補助率 100%。◎健康福祉部では、地域介護・福祉空間整備等交付金 6,000 万円。◎建設部では、土木費国庫補助金 500 万円は橋長 15 メートル以上の 64 橋の点検を行うもので、補助率 50%。◎教育部では、学校評価の充実・改善のための実践研究事業費委託金 400 万円を追加するものです。

いずれも、全議員による審査の結果、全会一致で原案どおり決しました。

議会運営委員会

●委員長 永山 芳宏 ●副委員長 西 信八郎
●委員 松岡隼人・福屋法晴・森口勝之・田中 哲・立山勝徳・下田代勝

6 月定例会にあたっては、閉会までに 7 回の委員会を開きました。①提出議案（条例案件 5 件・補正案件 5 件・損害の賠償他 4 件・報告案件 2 件）、会期日程、議案質疑及び一般質問の取り扱いについて、②日程の追加（教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて）、③委員会正副委員長の互選（委員長に永山芳宏議員、副委員長に西信八郎議員を選出）、④議案の訂正（損害の賠償）、議案の撤回（人事案件）、追加議案（委託に関する協定の締結

についての議決内容の一部変更）、⑤委員会付託、閉会中の継続審査、⑥議案の訂正（人吉市補助金等基本条例の制定）、討論について、⑦特別委員会の設置（球磨川水系の治水及び防災に関する特別委員会、公益的施設の適正配置に関する特別委員会）、決議案（北朝鮮の核実験に抗議する決議）について、いずれも慎重審議いたしました。なお 6 月 5 日には、一般質問者 15 名の登壇順番を決める抽選を行っております。

一般質問

下水道問題、及び 公園遊具について

田中 哲

問 下水道整備の現状と下水道整備区域外の住民の声はどのように聞けるのか。汚水処理の比較検討は。

答 公共下水道第六期事業は、平成十三年に事業認可を受けて平成二十一年度としていたが、期間を延ばして、平成二十七年三月までの認可を受けている。認可区域面積百二十haに対し、整備済み面積は七十五・九haで整備率六十三・三％。下水道運営審議会の学識経験者六人は整備区域に関係なく委嘱しており、全体を見越した意見をいただけるのでは。又未整備地区への手法は、公共下水道でいくのか、農業集落排水事業でいくのか、浄化槽でいくのかまだ結論に達していない。西瀬団地の浄化槽の臭気の問題、三日原団地の雑排水の問題は認識しているの今後対策を検討していく。

※なお街区公園、市営団地、学校、農村公園に設置してある遊具について、管理、点検、経年

数を質し、事故が起きないように安全対策の徹底を求めた。破損した遊具や必要な遊具については順次取りかえる。今年度は中原公園を改修。

新型インフルエンザ 対策について

豊永 貞夫

問 新型インフルエンザ対策行動計画の概要版は作成されているが、正式な行動計画は策定するか。また、感染防護具であるマスクなどの備蓄についての考えは。

答 行動計画の策定については、編成している対策本部のもとで、所管の担当部局、または課での対策計画について、緊急策定を進めているところだ。マスクや、ゴーグル、手袋等の防護具については発注済みで、数量については、今後検討していく。

問 女性特有のがん検診である「子宮頸がん」「乳がん」の受診率を上げ、死亡率を下げる目的で、今回の国の経済危機対策の中に、がん検診の無料クーポン券の配布が盛り込まれているが、本市の取り組み

は。

答 現時点では、通達や、説明会がまだの状況ですが、説明会後は実施要綱等に基づき、迅速に取り組んでいく考えです。

※その他、地球温暖化対策の環境で、スクール・ニューディール構想で学校施設への太陽光パネル設置や、冷房設置について質問しました。

教育委員会委員の 任命について

山下 幸一

問 教育委員会委員の任命について、六月一日議会開会日に追加提案され、重要案件が、わずかに一週間で撤回された。議案のあり方について、今回の様な事が無いように、議論する必要性を感じた立場で、質問を行った。主なものとして①教育委員の任期更新について、市長と現教育長間で、どの様なやり取りがあったのか②鳥井教育長の任期更新をする気持ちにならなかった理由③議案を撤回されたが任命権者としての立場でどの様に考えておられるか④今回の責任をどの様なかたちで、お取りになるのか議会軽視と思うが⑤現教育長を再度教育長として、再任される考えはないか⑥田中市長の教育ビジョンは⑦市の教育長には、どの様な人物が任命されるべきか

等々について質問をした。

答 現教育長を再任しなかったのは教職を経験された方々、民間の方々、更に行政経験者も加えるというバランスを考えた。人物については、他の教育委員に勝るとも劣らない方を再度、ご推薦させていただく等の答弁があった。

産業廃棄物（中間） 処理施設について

福屋 法晴

問 各自治体のゴミ分別搬入が、適正に行なわれるように広域行政組合に提案していただきたい。

答 今後、各市町村の衛生担当者会で、協議していきたい。

問 東間下町町内に建設予定の産業廃棄物（中間）処理施設について、近隣地域住民に対して、説明が充分になされていない現状に、今後市環境課としての対応は。また、田中人吉市長の考えは。

答 担当課としては熊本県・人吉市・企業・地域住民との四者協議に臨みたい。設置予定者が市が提出した意見書を得るのみ取り地域住民の理解を得ることが、大切である。その結果反対されるようであれば、市として、推奨できないとの田中人吉市長答弁でした。

問 人吉お城まつり会場に会場案内図看板設置と抽選会場テ

ントを色づきにしていきたい。

答 今後、協議検討したい。

※その他駅前開発は、市民の意見を重視していただきたい。通学路の安全対策について、質問いたしました。

入札のあり方と 公契約条例の制定

笹山 欣悟

問 平成十九年六月議会で公契約条例の制定について質問したが、その後の取組み、考え方は。

答 公契約条例の導入についてはILO条約では、公契約の中に労働者の労働条件を確保する条項を設けることが義務付けられている。しかし、労働条件への公共介入は、事業者と従業員の適用関係に支障のない法的監督権限を持つところで行うのが適切と判断しており、条例化は現時点では難しいと判断している。

問 給食配送などの労務提供型請負の場合、同じ業者が落札するか四月の入札までわからず、働いている人は就職活動や雇用面で不安を感じている。公正な労働の確保が実現するための入札制度の改革はできないか。

答 どうすれば入札を三月中旬に実施できるかなど、契約の相手方が早く決定できるよう検討したい。一定基準の労働条

件を入札の要件として設定するのは、難しいと考えている。しかし、行政としてどういう内容であればできるのか、制度の改正を含めて検討させていただきたい。

認知症の現状と対応

立山 勝徳

問 認知症患者の現状は。

答 平成十九年度で介護認定患者は約一〇〇人、その中で施設介護が五二九人、在宅介護が五九四人、他に未認定の人もある。

問 年令と患者数の関係は。

答 七〇歳～七四歳で三・六％。七五歳～七九歳で七・一％。八〇歳～八四歳で一四・六％。八五歳以上では二七・三％である。

問 治療によって回復できるか。

答 早期発見と早期治療により進行を遅らせることはできる。

問 早期発見のために市の健康診査の対象にできないか。

答 経費やスタッフの面から現状では困難だが今後検討したい。

問 どんな対策をやっているか。

答 認知症患者や家族を地域で支えるサポーター養成に取り組み現在六七六人を養成した。認定してない六五才以上の高齢者にチェックリストを

送付し自己申告してもらっている。五月から月一回物忘れ相談日を設けた。見守りネットワークも実施中。
※他に経済雇用対策、私道への下水道整備、新型インフルエンザ対策、青井さんとSL人吉について質問。

国道四四五号の七日町交差点の改良

仲村 勝治

問 七日町郵便局前の国道四四五号の交差点は、見通し

が悪く、交通事故の危険性が増加している。郵便局前に横断歩道があり、小中学生の通学路であり郵便局を利用する高齢者など利用が多い。国道改良の要望書が提出されたが、その対応は。

答 平成二十年七月十四日に五日町町内会長、七日町町内会長

の連名で「七日町地区通過国道四四五号の危険箇所に関する要望書」が提出されている。この交差点は、変則的な線形となっており、上新町方面からの大型車両の通行の際には、境界縁石ぎりぎりのところを通過している状況。大信寺方面への通過車両が増加し、その一部が七日町の交差点を利用するため交通量も増加している。通学児童、高齢者の安全な通行確保のため、交差点の改良を県へ要望している。

問 観光人吉の看板である、球磨川下りの振興を図る上で、

交差点改良は、重要な施策ではないか。

答 交差点改良の実現に向けて、道路管理者の県に強く要望する。

市営住宅の指定管理者導入構想について

村上 恵一

問 市営住宅での指定管理者制度導入への検討を行うとのことだが、現在どこまで進んでいるのか。構想ではどの業務分野まで委託する予定なのか。

答 四月から制度を導入した熊本市へ出向き、経緯や問題点などについて調査し、また、宅地建物取引業協会人吉支部長に、役員の方々の意見交換を申し入れている。委託業務分野は他市の例を調査した上で方向づけする。

問 指定管理者制度導入のメリットとデメリットは。

答 メリットは、民間のノウハウを生かしたサービスの質的向上や経費の削減、デメリットは、入居者の家族構成や収入の状況、滞納者世帯などの個人情報保護などと考え

問 県庁所在地や大規模自治体での導入がほとんど。小さな自治体では、逆にコスト高の可能性もある。また、入居者は高齢者

や母子世帯など様々。福祉分野との連携が不可欠であり、サービス低下は困る。最初から導入ありきではなく、慎重に検討すべきであると要望した。

教育の振興と充実

下田代 勝

問 六月末日で退任となる鳥井教育長に、所感を含め質問しました。

答 地方都市の教育の役割は。基礎基本教育の充実。小・中学校における技術、技能教育の実施。学校・家庭・地域が一体となった教育力の醸成。

問 人吉市教育の現状は。

答 学力調査では、国・県平均より上位。小・中一貫教育でも連携会議・合同行事・研修会を実施。

問 人吉市教育の問題点・課題は。

答 研修会、説明会等への出席者の確保。子どもの教育への意識の差。子どもと教師が向き合う時間の確保。不登校児童の解消。

問 人吉市教育の方向と展開は。

答 幼児期に、家庭教育、幼・保・教育の連携。青少年期に、基礎学力、家庭・地域環境の整備。青年期以降に生涯学習、社会の形成者としての資質向上。

問 人吉市教育に、市長の所感

は。

答 遅しく生きる力。元気で自信溢れる力、感謝の心ある教育を。

問 現場、保護者、県教委等信望の厚い教育長への市長の評価は。

答 議員と同じ思いである。

男女共同参画社会、新型インフルエンザ

三倉 美千子

問 男女共同参画社会について。平成十七年四月に男女共生係がなくなり、今年四月に四年ぶりに男女共同参画推進室として復活したが、①推進に向けた取り組みは、②推進状況、③男女共同参画推進条例が熊本県内十四市の中で人吉市だけに設置されていない。人吉市は人吉球磨においてリーダーシップをとる立場にあると思う。人吉市の現状、立場から考えても条例制定が必要と考えるが、市長の考えは。

答 ①地域生活課に併設して推進室を設置した。②平成十七年度から毎年、講演会、セミナー等を開催、広報ひとよし、新聞等で周知活動を行っている。しかし、離婚率やDV数は増加傾向にあり、今後対策の更なる必要性を認識している。③平成二十一年度中の制定を目指し、同時に制定から五年になる男女共同参画基本

計画も意識調査を実施して見直しを進めたい。
※他に新型インフルエンザについて、観光都市、国際交流に向けた案内板の外国語標記を要望した。

消費生活センター 設立への進捗状況は

井上 光浩

問 市民課くらし安心相談係を設置以降、どれくらいの相談件数で、内容の主なものは。

答 窓口相談が四月二十件、五月十九件、電話相談が四月十七件、五月十二件、合計六十八件。相談内容の主なものは、金銭問題、家庭問題が最も多く、それぞれ全体の十九%を占め、多重債務等の借金問題に加え、生活支援の相談が多くなっている。その他、悪質商法を含む契約問題、相続問題、婚姻離婚問題となっている。

問 人吉消費生活センターの設立時期はいつごろになるのか。またセンター設立で増員予定はあるのか。

答 設立は八月に予定しており、相談員は四月に再任用職員を含む三名、五月にくらし安心相談員二名を増員し五人体制。現段階で増員の予定はない。

問 相談室の場所は今のままでよいのか。

答 相談者の気持ちを配慮し、

施設充実を図っていききたい。
※その他、人吉市補助金等基本条例について質問しました。

核兵器廃絶の 世論喚起を

本村 令斗

問 ①オバマ大統領演説への市長の認識は。②来年は、核不拡散条約再検討会議。核兵器廃絶の世論を広げる絶好の機会。原爆写真パネル展を、行えないか。

答 ①歓迎する。非核三原則が、全ての国の原則となるよう努力せねばならない。②検討したい。

問 『ダムによらない治水を検討する場』に、補償付で農地のまま使う遊水地案が出た。国交省は、佐賀県に遊水地を整備しているが、町村長も同行し、視察しては。

答 町村長と同行し、視察したい。

問 「県ふるさと雇用再生特別基金事業は、計画の六割」ということだが、①さらなる事業の募集は。②再々募集があっても、積極的に申請してほしい。

答 ①追加要望調査があり、四事業を要望した。②緊急雇用創出基金事業が、状況により検討される。取り組みを強化したい。

問 中小事業者に仕事を確保し、経済活性化になる小規模

工事希望者登録制度の実施を。

答 他自治体を検証し検討したい。

※乳幼児医療費の窓口無料化を求める質問も行いました。

温泉特区構想の 今後について

川野 精一

問 市長マニフェストの温泉特区構想の進捗で、新聞報道にあった「一部で理解が得られない部分があり、新たな道を探って行かなければならない」とはどういうことか。

答 構想どおりだと車両が増え、交通事故の危険が高まるとか、構想よりも街路や環境の整備を望む声があり、構想への理解が進んでいない。協議を通じ理解が進まなければ、他の道も探していかなければならない。

問 温泉特区構想の中核施設と挙げていた、老人福祉センターの今後の活用は。

答 今後更に、センターの利用促進及び温泉を活用した健康づくりに取り組み、市民の皆様健康づくり、生きがいづくりの支援に取り組んでいく。

問 温泉の湯量減少や公衆浴場の廃業をどう考えているのか。

答 関係者などの提案もいただき、湯量の確保なども市全体

として協議をしていかなければいけない。

人吉市の総合計画と 観光施策

松田 茂

問 都市計画マスタープランの観点から、現庁舎の場所についての想いや考え方は。

答 相良七〇〇年の先人達の想いにたち返り、歴史文化の拠点と考えており、今後も重要な観光の一翼をになう場所と考えている。

問 現市庁舎の移転問題に関して市はどのように考えているのか。

答 「市庁舎移転に関する調査特別委員会」において、今後も財政計画も含め、調査研究を進めていくと結ばれておりますが、具体的には進んでいない。

問 少子高齢化、人口減少等の問題、コンパクトシティ等の考え方から移転をどうとらえるか。

答 華美にならず機能的でバリアフリーに配慮した庁舎で、場所については、今後の課題である。

問 防災本部としての機能の充実はあるのか。

答 当然考えている。十分に検討をし、市民の安心安全に配慮していきたい。

※その他、国宝青井阿蘇神社とSL人吉の効果、今後の展望と

展開なども質問しました。

産廃（中間）処理 施設建設問題、他

森口 勝之

問 東間下町内に建設計画されている産業廃棄物（中間）処理施設について、熊本県産業廃棄物指導要領によると市の責務として「地域と共存できる場所を確保するよう指導しなければならない」と規定されている。近隣町内では臨時総会が開催されて建設反対の決議文が採択され、浪床町、東間下町、東間上町の三町合同による反対署名活動が展開されるなど、共存できる状況ではないことが明らかである。地元説明会における当該社長の「県市の指導があれば建設断念もあり得る」との発言も踏まえながら、市は指導要領に基づき、地元要望に添うような適切な判断、指導を行うべきではないか。

答 地域住民の多くの方の理解が得られず、反対されるようであれば、市として推奨はできないという立場である。
※その他、球磨川水系の治水対策について市長の考えを質しました。

平成 20 年度政務調査費収支報告書を掲載しました

氏 名	収 入	支 出								
		研 究 研修費	調 査 旅 費	資 料 作成費	資 料 購入費	広報費	広聴費	人件費	事務所費	合 計
松岡 隼人	240,000	6,000	65,479	—	21,463	161,160	—	—	41,672	295,774
井上 光浩	240,000	—	167,470	—	53,340	2,430	—	—	26,710	249,950
豊永 貞夫	240,000	—	119,424	44,930	93,248	—	—	—	—	257,602
川野 精一	240,000	47,430	11,702	—	157,400	31,500	—	—	—	248,032
笹山 欣悟	240,000	7,460	119,434	—	—	114,578	—	—	19,569	261,041
村上 恵一	240,000	—	119,426	83,281	20,740	15,750	—	—	—	239,197
西 信八郎	240,000	98,150	63,954	—	80,690	—	—	—	—	242,794
松田 茂	240,000	—	223,982	13,536	10,200	—	—	10,000	—	257,718
永山 芳宏	240,000	63,630	81,580	42,600	64,100	—	—	—	—	251,910
福屋 法晴	240,000	45,800	127,767	48,578	21,555	—	—	—	—	243,700
森口 勝之	240,000	—	178,520	—	18,389	—	—	—	78,739	275,648
田中 哲	240,000	—	201,610	17,552	30,600	—	—	—	—	249,762
本村 令斗	240,000	1,500	119,425	880	75,619	26,956	—	—	120,000	344,380
立山 勝徳	240,000	25,340	119,426	7,250	12,000	69,270	—	—	25,058	258,344
仲村 勝治	240,000	230,576	176,470	3,180	56,760	9,450	—	—	30,443	506,879
三倉美千子	240,000	115,141	167,470	13,908	37,400	—	—	—	—	333,919
山下 幸一	240,000	—	201,609	61,155	—	—	—	—	—	262,764
下田代 勝	240,000	—	195,727	—	55,475	—	—	—	14,156	265,358
簗毛 正勝	240,000	—	167,470	17,476	58,780	—	—	—	—	243,726
大王 英二	240,000	—	52,252	—	7,200	—	—	—	—	59,452
	4,800,000	641,027	2,680,197	354,326	874,959	431,094	0	10,000	356,347	5,347,950

政務調査費とは・・・議員の調査研究に必要な経費の一部として地方自治法で交付が認められているものです。

注) 政務調査費の交付額は月額 2 万円

当初から収支報告書には金額の多寡を問わず領収書の写しを添えて提出することと定めています。

支出額が収入額を上回っても交付額の増額はありません。

支出額が収入額を下回った場合は残余を全額返還しなければなりません。

常任・議会運営委員会紹介

委員会構成が 6 月で変わりました。

(◎委員長 ○副委員長)

予算委員会

◎三倉美千子 ○井上光浩
全議員

総務文教委員会

◎下田代勝 ○川野精一
西信八郎 永山芳宏
本村令斗 仲村勝治
大王英二

厚生委員会

◎田中 哲 ○松岡隼人
豊永貞夫 笹山欣悟
三倉美千子 簗毛正勝

経済建設委員会

◎森口勝之 ○松田 茂
井上光浩 村上恵一
福屋法晴 立山勝徳
山下幸一

議会運営委員会

◎永山芳宏 ○西信八郎
松岡隼人 福屋法晴
森口勝之 田中 哲
立山勝徳 下田代勝

特 別 委 員 会

6 月 19 日の議会最終日に 2 つの特別委員会が設置されました。

(◎委員長 ○副委員長)

球磨川水系の治水及び防災に関する特別委員会

◎山下幸一
○村上恵一
井上光浩 豊永貞夫 川野精一 森口勝之
田中 哲 本村令斗 下田代勝

公益的施設の適正配置に関する特別委員会

◎立山勝徳
○三倉美千子
松岡隼人 笹山欣悟 西信八郎 松田 茂
永山芳宏 福屋法晴 仲村勝治

6 月定例会における議案等の審議結果

番 号	件 名	議決結果
議第 5 2 号	平成 2 1 年度 人吉市一般会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議第 5 3 号	平成 2 1 年度 人吉市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議第 5 4 号	平成 2 1 年度 人吉市老人保健医療特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議第 5 5 号	平成 2 1 年度 人吉市介護保険特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議第 5 6 号	平成 2 1 年度 人吉市介護サービス事業特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議第 5 7 号	人吉市教育委員会の教育長の給与及び勤務時間に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第 5 8 号	人吉市職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第 5 9 号	人吉市補助金等基本条例の制定について	原案可決
議第 6 0 号	人吉市火入れに関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第 6 1 号	人吉市公民館条例及び人吉市コミュニティセンター条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第 6 2 号	委託に関する協定の締結について	原案可決
議第 6 3 号	損害の賠償について	原案可決
議第 6 4 号	損害の賠償について	原案可決
議第 6 5 号	訴えの提起について	原案可決
議第 6 6 号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	撤 回
議第 6 7 号	委託に関する協定の締結についての議決内容の一部変更について	原案可決

請 願 ・ 陳 情 の 審 査 結 果 に つ い て

委 員 会	請 願 ・ 陳 情 の 内 容	審査結果
厚 生 委 員 会	物価に見合う年金引き上げを求める陳情	不 採 択
経済建設委員会	国の責任で、安心・安全な国土づくりを求める意見書提出に関する陳情	継続審査

6 月定例会において、
「北朝鮮の核実験に抗議する決議」を採択
しました。

6 月 29 日の第 4 回臨時会において、人吉
市教育委員会委員に堀秀行氏の任命につ
き同意しました。

全国市議会議長会表彰受賞

市政振興の功績が認められ、今回 3 名の議員が全国市議会議長
会から議員 10 年表彰を受賞いたしました。

6 月定例議会において表彰状の伝達を行いました。

受賞議員 下田代 勝議員、山下 幸一議員、本村 令斗議員

編 集 後 記

九州北部地方は、梅雨入り
宣言されたにもかかわらず、
雨の降らない日々が続いてい
ます。適度の量の雨が適度に
降ってくれることを望むとこ
ろです。

六月議会を振り返ってみま
すと、現在、世界中で猛威を
ふるっている新型インフルエ
ンザへの本市の対応。国の経
済危機対策が織り込まれた国
の補正予算の人吉市事業への
利活用、本市の教育行政等に
ついて一般質問が行われ、執
行部の答弁を求めました。鳥
井教育長は、今議会が最後の
答弁になりました。四年間お
疲れ様でした。

本議会では、各常任委員会
議会運営委員会の委員会構成
の変更が行われ、また、二つ
の特別委員会が新たに設置さ
れました。新メンバーでの委
員会活動を行うこととなりま
すが、これまで同様、議員一
丸となって諸問題解決にむけ
て全力で取り組んで参ります。
(文責：松岡 隼人)

【議会報編集委員会】

委員長／大王英二
副委員長／箕毛正勝
委員／松岡隼人
松田 茂
井上光浩
田中 哲
下田代勝
本村令斗

次の定例会は九月です。